

令和4年度 事務事業評価（議会）
（令和3年度決算）

分科会評価結果

| | | | | | | | | | | |
|--------------------|----------------|----|---|----|---|-------------|------|-------------|---|-------|
| 分科会名 | 建設分科会 | | | | | 整理番号 | 建設-2 | | | |
| 事務事業名 | 新たなモビリティサービス事業 | | | | | | | | | |
| 評価区分 （事務事業の方向性） | 1 | 拡充 | 2 | 継続 | ③ | 改善の上 で継続 | 4 | 終期設定 し終了 | 5 | 休止・廃止 |

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、高齢者等の移動困難者の支援や過疎地域における移動手段の確保やドライバー不足への対応など、地域公共交通が抱える課題解決に向けた取組として、グリーンスローモビリティの実験運行を実施するとともに、自動運転車両の活用方法を調査するなど、多様な技術を活用した新たなモビリティサービスの創出を目的としている。

本市においても、交通事業者のドライバー不足や高年齢化が深刻になっているほか、運転免許返納者が増加傾向にあることから、今後、公共交通に対するニーズが高まることが予測される。また、将来を見据えて、周辺自治体を含めた移動の円滑化や観光・誘客の促進等を図る観点、カーボンニュートラルを目指す観点からも、本事業の必要性は高いと認められる。

今後も、引き続き交通弱者の支援のため、ふれあい交通運行事業や路線バス代替交通運行事業等の既存事業との連携を踏まえたうえで、国の動向を注視しつつ、本市における自動運転のあり方や空飛ぶクルマの社会実装に向けた調査・検討を継続して行い、グリーンスローモビリティ実験運行については、これまでの実験内容を検証し、事業化に向けた検討を行うことを求め、改善の上で継続とした。